

SANKEI EXPRESS  
写真劇場

1  
SCENE

かつらゆみ  
桂由美さん 日本初のブライダル専門店オープンから45年

## 節目に新たな挑戦 進化続ける

ブライダルファッションのパイオニア、桂由美さんが日本初のブライダル総合専門店を東京にオープンして45年。その歩みは、日本のウエディングドレスの歴史そのものであり、和装が大半だった日本の結婚式に、花嫁の希望や夢を叶えるために洋装での新しいウエディングスタイルを提案、常にCHANGE（変革）の先頭に立ってきた。この間、輝かせた花嫁は63万人を超える。

桂さんのウエディングドレスは今、海外の女性をも魅了している。ファッションの本場、パリのオートクチュール（注文服）コレクションに毎年参加し、2005年にはシャネル本店前のカンボン通りにパリ店をオープンした。また、イタリア・ローマやスペイン、ロシアなどでショーを開催、中国でもコレクションを発表し、日本生まれのブライダルファッションを世界に発信し続けている。

節目の今年、桂さんの新たなチャレンジが始まった。1月の2009年パリオートクチュールコレクションでは、「オスカー・ナイト」と題し、ビビアン・リー、エバ・ガードナーら往年の大女優のイメージから創作したカクテルドレスやウエディングドレスを発表。また、3月には自らの名にちなむ白バラ「ローズユミ」から作られたカップル向けのオードトワレ「ローズ ユミ ローズ」を発売する。

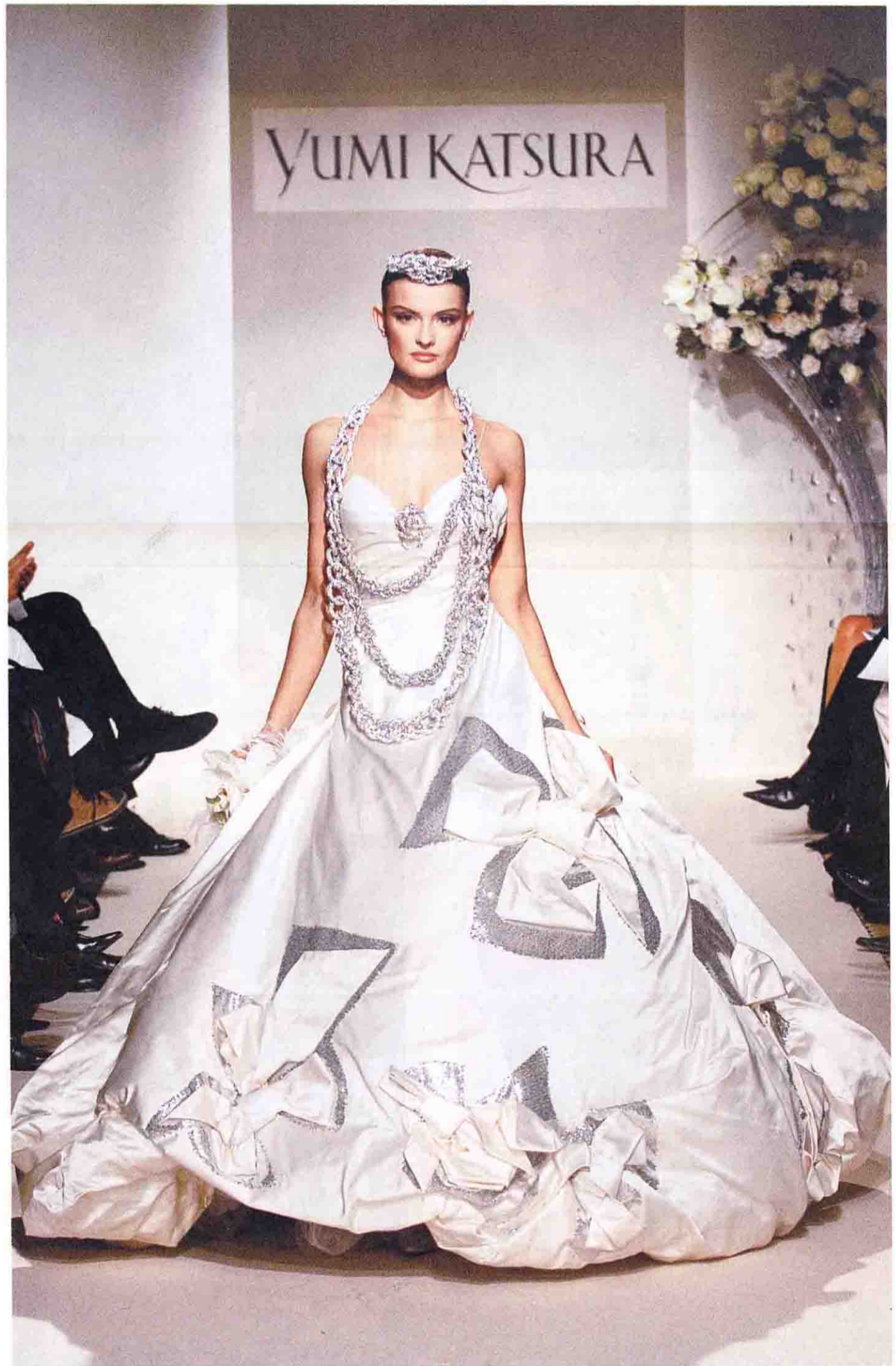
### 120点で今を表現

2月17日、東京・芝公園のザ・プリンス パークタワー東京で開かれる「2009 YUMI KATSURA PARIS GRAND COLLECTION IN TOKYO」のコンセプトは、「Sparkle（輝き）」。スワロフスキーのクリスタルを多用するなどまばゆい輝きを表現している。パリコレで発表したオートクチュールはもちろん、ウエディングドレスからメンズフォーマルウェア、子供服に至るまでフルラインアップ約120点で、桂由美の

今、が表現される。ゲストモデルは、オグシオ、旋風を巻き起こした北京五輪パドミントン代表、潮田



玲子さん(25)＝写真。可憐な花嫁姿にも注目が集まりそうだ。



2009年パリオートクチュールコレクションで発表したウエディングドレス。女優ビビアン・リーからイメージを得てデザインした